

**2018-2019 CSPC (The Center for the Study of the Presidency and Congress)
International Fellows Program 参加学生募集要項**

添付資料

- 【学生提出様式1】2018-2019CSPC 申込書 (Word 文書)
- 【学生提出様式2】Application For International Students (Word 文書)

1. 主旨

米国の CSPC (The Center for the Study of the Presidency and Congress)が主催する「2018-2019International Fellows Program」への日本人参加学生を募集致します。このプログラムは、米国を中心とした、各国のトップクラスの大学に所属する学生たちが、年 2 回ワシントン D.C.に集まり、米国の政策等について議論を行い、研究課題に沿った論文を作成するものです。若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、米国の他、日本、ブラジル、カナダ、ハンガリー、メキシコ、スペイン、英国等から毎年約 70 名が参加しています。

2018 年度は、トヨタ自動車株式会社様、全日本空輸株式会社様のご支援により3名の日本人を派遣致します。USJI の各連携大学を通じて参加学生募集を行い、大学ごとに候補者 1 名を選出した後、日米研究インスティテュート(USJI)が最終選考を行い、派遣者を決定します。

派遣者は例年 10 月に実施される秋学期リーダーシップ会議に参加し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、論文を提出し、翌年 4 月に実施される春学期リーダーシップ会議で発表することが求められます。また、日本で開催される報告会等にも参加することが義務付けられています。

応募資格・応募条件・応募方法等詳細は以下を確認してください。

参考：過去の参加学生の活動記録 <http://www.us-jpri.org/category/cspc>

2. 概要

(1)募集人数

3名(各大学から候補者1名を選出した後 USJI が最終選考を行い、派遣者 3 名を決定する)

(2)スケジュール

【秋学期リーダーシップ会議】

場所:米国 ワシントン D.C.

期間:例年 6 日間程度(例年 10 月中旬～下旬に開催)

内容:議会、政府訪問、メンターアサイン、ディスカッション研究テーマ決定等

【春学期リーダーシップ会議】

場所:米国 ワシントン D.C.

期間:例年 6 日間程度 (例年4月上旬～中旬に開催)

内容:研究成果発表 等

上記以外にも、以下の通り USJI が日本で開催する報告会等があります。

【トヨタ自動車株式会社工場見学会】

場所:愛知県豊田市

日時:未定 例年 9 月頃か 2 月頃(日帰り)

内容:スポンサー企業であるトヨタ自動車株式会社の工場見学

【本年度参加学生による研究計画発表会・懇親会】

場所:東京

日時:未定 9～10 月頃 (派遣決定後～秋学期リーダーシップ会議までに実施予定)

内容:今年度参加に当たっての抱負発表、関係者懇親会

【プログラム中間報告会】

場所:東京

日時:未定(秋学期リーダーシップ会議後～春学期リーダーシップ会議までに実施予定)

内容:秋学期リーダーシップ会議参加を受けての報告会

【プログラム最終報告会・懇親会】

場所:東京

日時:未定(最終論文提出後～翌年度参加者の秋学期リーダーシップ会議までに実施予定)

内容:最終論文提出を受けての報告会、関係者懇親会

(3)費用

【春学期・秋学期リーダーシップ会議】

- 渡航費(国際航空券)、米国内滞在費、ホテルでの食費、DC 内での会議にかかわる交通費は CSPC が負担。
- 日本国内旅費、米国内での医療費、海外旅行保険費用は自己負担。
- 但し、京都大学、同志社大学、立命館大学、九州大学の学生については、新幹線自由席往復運賃(京都駅・博多駅⇔東京駅間)または、事前早期購入割引等を適用した往復航空賃(伊丹・博多⇔成田空港間)は USJI が負担。

【東京での報告会・懇親会】

日本国内旅費は自己負担。ただし、京都大学、同志社大学、立命館大学、九州大学の学生については、新幹線自由席往復運賃(京都駅・博多駅⇔東京駅間)または、事前早期購入割引等を適用した往復航空賃(伊丹・博多⇔成田空港間)は USJI が負担。

【トヨタ工場見学】

所属大学を問わず、すべての交通費・昼食代をトヨタ自動車が負担。

3. 応募資格

以下のすべてを満たしていること。

(1)正規生として USJI 連携大学に在籍する学部・大学院学生。留学中の学生も対象とする。

- 例年米国側フェロー学生は、参加時に学部 4 年生が多い。日本側フェローとしては、基本的には学部・大学院の全学年を対象とするが、学部 4 年生・修士 2 年生等の最終学年で応募する場合、春学期リーダーシップ会議期間（例年 4 月）の都合上、翌年度の進路として大学院進学・博士後期課程進学を予定している者が望ましい。
- 全ての学科・専攻からの応募が可能。過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」等。

(2)スケジュール記載のイベント(翌年度に実施するプログラム最終報告会・懇親会を除く)実施時に USJI 連携大学に在籍していること。

(3)日本国籍を保有していること。

4. 応募条件・注意事項

(1)成績優秀であること(GPA3.5 以上、平均して A-の成績であること)。

(2)英語で議論する能力、ライティング能力について、米国学生と遜色ない能力を有していること。また、米国政治、国際関係への強い興味を持っているとともに、ディスカッションの場で自身の専門分野のみならず、文化、歴史、時事問題などを含めて幅広く日本について議論でき、貢献できること。グループ、チームワーク学習に積極的に参加できること。

(3)米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。10-15 枚の最終論文ならびにその他の提出課題を期日までに作成すること。その他、CSPC の要請に応じて Proposal や Blog Post の作成等に応じること。なお、最終論文については、USJI の Web サイトに掲載するので了承のこと。

(4)スケジュールに記載のあるイベント(本書「2. 概要」参照)の全てに参加できること。

授業や学事を理由とした欠席・遅刻は認められない。特に春学期リーダーシップ会議については、新年度の 4 月に日程が組まれる可能性があるが、大学や個人の都合を理由とした欠席や遅れての参加は認められないので注意すること。

(5)選考プロセスである TV 会議による面接に参加できること。

面接実施日(予定): 2018 年 7 月 31 日日(火) 一人 10 分程度

(6)各所属大学の規定に基づき、米国でのリーダーシップ会議参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。

(7)派遣が決定した後でも、スケジュールに記載のイベントへ参加しないなど不適格な行動が見られる場合、以降のプログラムへの参加を認めない場合があるので注意すること。

(8)応募者は、プログラム参加に伴い、氏名、所属大学・専攻、学年の情報および発表資料や参加風景写真を、USJI および CSPC のホームページや報告書等に掲載することに同意したものとす。

5. 応募方法

(1)提出書類（各様式は、次の URL よりダウンロードして下さい。）

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/category/summer>

提出資料およびファイル名	書式	ファイル形式
① 2018-2019 CSPC 申込書 「01_ローマ字姓_Application.docx」	学生提出様式 1	Word
② Application for International Students 「02_ローマ字姓_App_International.docx」	学生提出様式 2	Word
③ 英文履歴書 (CV) 「03_ローマ字姓_CV.pdf」	自由、A4 サイズ	PDF

(2)提出先: 国際部留学課 CSPC 担当 Email: tankihaken@jimu.kyushu-u.ac.jp

(3)提出締切日時: 6月25日(月) 17時(厳守)

6. 選考方法

【各大学の選考】書類選考の後、必要に応じ面接を実施します。

【USJI の選考】各大学から 1 名の候補者が選出されたのち、書類選考と TV 会議による面接を実施し、日米研究インスティテュート(USJI)で最終選考を行います。最終選考結果は、USJI 日本オフィスより各連携大学事務局を通じて学生本人へご連絡します。

7. 個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJI および CSPC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、厳重に管理の上、USJI の運営活動目的以外には使用致しません。

【問い合わせ先】国際部留学課 CSPC 担当

TEL: 092-802-2284 Email: tankihaken@jimu.kyushu-u.ac.jp

CSPC International Fellows Program は貴重な機会を数々与えられるプログラムであります。一方で、それを最大限に活かすためには相当の覚悟、準備、知識、コミュニケーションスキル、そして勇気が必要だと感じました。プログラムの詳細に記載されているように、世界中のトップレベルの学生、政府高官及び高ランクの国際機関職員など、普段ではお会いできない人々と少人数でディスカッションをするイベントが多数あります。ここで勇気を振り絞り、会議までに重ねてきた準備や知識を活かし、ハイレベルなディスカッションに貢献できれば貴重な意見や情報を聞くことができます。さらに、場合によっては連絡先を頂くことができ、今後の情報収集、ネットワーキングにおけるかけがえのない財産となる可能性すらあります。また、自由時間については、Ivy League 校をはじめとするそれぞれの大学内の選抜を潜り抜けてきた優秀な学生とパーソナルなレベルで交流する機会でもあります。他にもアメリカ政治の中心というユニークな環境を活かし、例えば事前に普段日本ではお会いできないような方々と個人的に連絡を取り、面談を入れたりすることもできます。ただし、当プログラムではあくまでこのような機会が与えられるだけです。ディスカッション中に何も発言せず、自由時間にテレビを見ていても、すべてのタスクを終えることはできます。しかし、これではあまりにもったいないと思います。当プログラムは、大学時代最大のハイライトとなり得ますし、今後の人生における貴重な財産をいくつも得られる機会でもあります。以上を踏まえ、CSPC International Fellows Program を最大限に活かせると思う方々には、奮って応募いただきたいと思います。



－2012-2013 参加学生の声－ 立命館大学卒業生 吉川 睦 (2013 Moffet Award 受賞)

CSPC International Fellows Program の一番の魅力は、アメリカ現代政治、外交や国際経済、リーダーシップなど幅広い分野のゲストスピーカーから話を聞くことができ、それだけではなく、その場で意見交換ができることだと感じました。年に2回ある会議は、前半の International Fellows だけで、ペンタゴンやアメリカ国務省、シンクタンク、大使館などを訪問するフィールドスタディと、後半のアメリカ人学生と合流し、ホテルの会議室で開かれる Presidential Fellows Conference に分かれています。実際にワシントン D.C.で働いている人に会い、話を聞き、質問をする、アメリカならではのインタラクティブなプログラムです。

私は、このプログラムを通して、アメリカ政治はもちろんのこと、今アメリカ人学生が何を考えているのか、どういうキャリアを描いているのか、ディスカッションにはどのように参加したら良いのか、などの実践的な知識も学ぶことができました。

応募を考えている人へ。全体を通して、とても詳しいアメリカ政治や歴史の知識が問われます。また、政治家やジャーナリストやリサーチャーとしての働き方などの話もたくさんあります。アメリカ政治専門の方、政治家志望の方、現在大学生で大学院志望の方等に是非、応募して欲しいと思います。



*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009年4月、ワシントン D.C.に設立した米国 NPO 団体で、主な活動内容は、政策提言型の研究を行い、ワークショップやセミナーで情報発信をするとともに、幅広いネットワーク形成に努めています。将来の日米関係を担う次世代人材育成もミッションの1つです。連携大学として、九州大学、京都大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、同志社大学、立命館大学、早稲田大学の8大学が運営に当たっています。

URL: <http://www.us-jpri.org/index.html>

以 上